

# 大空祭に向けて始動！

1年間の学校生活の中で、全校生徒が主体となって取り組む学校行事の一つが、9月17日(土)に行われる大空祭です。23日(木)の6限に開かれた全校集会で、大空祭実行委員長の三浦生徒会長から全校生徒に向けて、大空祭の意義やねらい、これからの活動の流れなどが説明され、いよいよ今年度の大空祭に向けた活動がスタートしました。昨年度の大空祭。全員が燃えた！



大形中学校 校長室だより

# 夢・希望・未来

令和4年6月24日  
第7号

## 【大空祭で目指すこと】

- 生徒の手による企画・運営を通して、リーダー・フォロワーのお互いの協力の中で、自主的な態度を育てよう。
- 集団の一員としての役割を明確にし、仲間と協力して活動することを通して、各集団への所属意識を高めよう。
- 気力・体力を充実させ、心身の健全な発達を目指そう。
- 大空祭を通して、個や集団の向上を目指すことに着目し、活動後に自分たちの成長を感じよう。

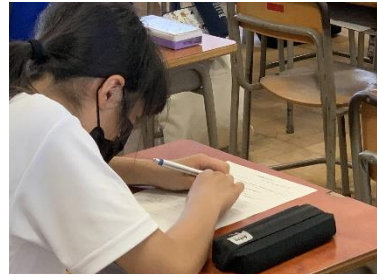
何事も「活動ありき」では意味がありません。どんな大空祭を創り上げたいのか。また、大空祭の活動を通して、どんな自分になりたいのか。「目指す姿」を見据え、その達成に向けて努力することが、自分や自分たちの成長につながります。そのためにも、「目指す姿」の設定や、その達成に向けた努力にとことんこだわって、自分や自分たちにしっかりと負荷をかけながら頑張ってもらいたいと思います。



三浦実行委員長の言葉で、全校生徒の意識が高まりました！



3年生への大きな期待を高尾先生が熱く語る！



「頑張りたいこと」や「目指す大空祭の姿」を真剣に考える！



\*\*\*\*\*

## 熱中症が心配される季節で、服装選択はどうあるべきか？

これから夏に向けて、気温が30℃を超える日が増えてきます。また、そこまで気温が高くなくても、梅雨時で湿度の高い日が続くことも予想されます。このような気温・湿度のときの服装として、いわゆる冬服の制服や長袖体育着を選択することが適切であるかどうか、熱中症対策の観点から考えれば答えは明らかです。



大形中では、気温や湿度、自身の体調、季節感、時と場に応じた服装の在り方などから、自分で適切に判断して服装を決めることのできる生徒を目指して、昨年度から衣替えを廃止しました。皆さんは、「自己決定」によって毎日の服装を決めているはずですが、

しかし、皆さんの「自己決定」は果たして適切に行われているのでしょうか。誤った判断による不適切な服装選択は、命の危険につながります。暑くないと感じていても、熱中症防止の観点から見ると、熱がこもり発汗が抑制される長袖の服装はリスクが大きいです。熱中症が心配される日には、皆さん一人一人が判断した結果、全員が熱中症のリスクを下げる服装選択をしている姿が、大形中で目指す「服装を適切に自己決定する姿」です。

体育の授業や部活動などでは、「半袖・ハーフパンツ」という指示が出されます。また、運動時にはマスクを外すことも指示されます。これは、個人の服装選択の問題ではなく、命の問題だからです。皆さんの「自己決定」の権利を尊重しながらも、合理的な理由がある場合には、服装をはじめ学校から指示が出されるのです。

皆さんの感度と適切に判断する力が高まることで、指示がなくても適切な服装選択ができる。もちろん、指示があったときには、既に当たり前のように全員が適切な服装を選択している。そんな大中学生になったら最高ですね。そのためにも、自分は常に皆さんに問い続けていきたいと思っています。